

日本家政学会・被服材料学部会 夏季セミナー



一般社団法人日本家政学会

日時：2018年8月26日(日)・27日(月)

会場：島根大学・人間科学部棟（島根県松江市西川津町 1060）

内容：

島根県は「古事記」、「日本書紀」が記す出雲神話の舞台であり、神話や伝承と結びついた史跡が多数存在します。また、ご当地で生まれた「広瀬紺」は、和紙に柿渋を塗り文様を縦長に拡大して切り抜く独特の型紙を使い手括りし、絵模様と幾何模様とを組み合わせた大柄な模様が特徴です。正藍染にし手織りで丹念に織りあげる手間がかかるものですが、それだけに堅牢です。山陰の代表的な紺であり、県や国の無形文化財にも指定されています。

また、「足立美術館」は横山大観を中心とした近代から現代の日本画の名作を多数収蔵し、5万坪の日本庭園は、米国の日本庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」による庭園ランキングで14年連続日本一に選ばれている必見の庭園美術館です。

見学会も非常に充実しています。山陰松江での「被服材料学部会夏季セミナー」に、皆様のご参加をお待ちしています。



第1日目 8月26日(日)

- 12:20～ 受付
- 13:15～13:30 開会挨拶
- 13:30～14:30 講演会① 島根県産業技術センター 所長 吉野勝美氏
『地域文化・産業を担う伝統材料・技術と先端材料・技術の関わり（仮題）』
- 14:30～15:30 講演会② 武庫川女子大学 生活環境学部 古濱裕樹先生
『藍の多様な色彩（仮題）』
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～16:45 講演会③ <一般公開> 「広瀬紺」の無形文化財保持者・永田佳子氏
『広瀬紺の歴史と現在の状況（仮題）』
- 16:50～17:15 新設『島根大学 人間科学部』のご紹介
- 17:20～18:20 被服材料学部会総会
- 19:00～ <懇親会> 松江しんじ湖温泉「水天閣」

第2日目 8月27日(月)

見学会コース「広瀬紺センター および 足立美術館」

9:00 水天閣(宿泊地)出発、JR 松江駅経由
(観光バスにて移動)

10:00 広瀬紺センター 到着
広瀬紺センター展示場見学、藍染体験
<昼食：お食事処どじょう亭>
足立美術館見学

14:30 足立美術館 出発
15:00 JR 安来駅着(JRにて大阪方面に帰られる方)
15:30 JR 松江駅着(空港連絡バスをされる方)
15:40 国宝 松江城 着(お時間のある方)

参加費：26日の参加費(要旨集代を含む)

部会員、非部会員とも6,000円(前納), 7,000円(当日), 学生3,000円(前納), 4,000円(当日)

26日(日)の「講演会③一般公開」のみの一般参加者：無料

懇親会費：8,000円

見学会：9,000円(昼食費、広瀬紺センター藍染め体験800円、足立美術館2,300円、貸切バス代を含む)

申込み先：滋賀大学 與倉弘子 (e-mail: yokura@edu.shiga-u.ac.jp)

問合せ先：島根大学 高橋哲也 (e-mail: takahashi@hmn.shimane-u.ac.jp)

実行委員長：島根大学人間科学部 高橋 哲也 (島根大学共催予定)

